

みずあそびは  
魅力がいっぱい！！

暑い日には、水の魅力を満喫してきた子どもたち。驚きや発見はもちろんですが、「どうやったか？」と試したり、考える姿も…。そんな素敵なエピソードをご紹介します。

テーブルから流れ落ちるしずくに気づいたもも組さん。勢いよく流れてきたかと思うと最後は、ポタポタしずくに…。「なんでテーブルから？」と不思議そうに机をのぞき込む子どもの姿が印象的でした。子どもたちの発見と一緒に楽しんでいきたいです。



水の流れに興味を示しているきい組さん。水を流すために、樋とパイプをつなげるには「どうしたら？」と試行錯誤。始めはヨーグルト容器を置いていましたが、高さが足りず、次はその上にペットボトルを…。「これはどうかね」と何度も考え試していました。このあそびはまだまだ続きそうです。



いざという時に備えて住宅用火災警報器、消火器などを備えましょう

9月1日 防災の日  
9日 救急の日



広島市南消防署

「今できること」

お盆以降新型コロナウイルスの新規感染者が爆発的に急拡大する中、広島県も8月4日から始まった県独自の飲食店等の時短要請が、27日からは緊急事態宣言と一段強化されるなど気が気ではない日々が続いています。まだまだ感染の勢いが収まる様子もなく、また身近で濃厚接触者となり「PCR検査を受けます」といったケースも増えてきているため、園でも緊張が高まっています。何度もお伝えしていますが、子どもたちとの生活の中で3密は防ぎようがなく、3密で過ごすことは、子どもたちの育ちにはなくてはならないものです。だからこそ保護者の皆様に、ご家族の中で発熱者があった場合や、2週間以内に県外への往来があり、体調に少しでも変化がありましたら、登園の自粛をしてください。子どもたちそしてご家族皆様の大切な命を守るためにもご理解とご協力お願いいたします。

先日0歳児さんにくくと、腹ばいで上半身をもちあげ、側にいる保育者に「あ〜う〜」と元気いっぱいおしゃべりするNちゃんの姿に出会いました。そのおしゃべりに「そうなの〜」と目と目を合わせ言葉を返すと、再びおしゃべり…。そして、マスク越しに微笑んだ保育者の表情を感じとったのか、満面の笑みを浮かべ保育者の顔をじっと見つめていました。側で見ていた私も思わず笑みがこぼれ、心がほんわか温かい気持ちになった瞬間でした。

生活様式も変化し、マスクで過ごすことが当たり前となり、表情が見えにくい中での子どもへの関わり方はどうすべきかと考える中で、言葉や表情だけでなく心でつながり、やりとりするNちゃんの姿に子どもたちの持つ力のすごさを感じたのです。もちろん表情が見えることが1番ですが、見えない分今できること…。声色や目線、そして雰囲気など様々な方法で子どもたちの今を大切に、しっかり心寄せながら子どもたちの心と強く深くつながっていきたいと思います。

また、保育や行事の形においても今経験させたいことをどんな形で保障できるか、“子どもたちの育ちにとって”ということを常に職員と考え、葛藤しながら保育を進めています。その中で大切なのは、たくさんの心揺さぶる楽しい経験を味わう中で育まれる“やってみよう”という気持ち、そして側で見守る大好きな大人の存在です。だからこそ私たちは、様々な状況下においても、子どもたちの心動かし瞬間を大切に

新しいやり方にも挑戦しながら“今できること”を進めています。

先日開催した夏まつりも形を変えての開催でしたが、年長さんは、サークルタイム（友だちと考える時間）を繰り返す中で、夏まつりのイメージを広げ、子どもたちからやりたいこと、作りたいものなどを試行錯誤し、対話の中で、第二みみょう保育園ならではの夏まつりを満喫することができました。また、ご家庭で親子で作っていただいたちょうちんは、園内を華やかにしてくれ、登園時、階段をのぼりながら「これ作ったよね」と親子で顔を見合わせ話をする姿も見られていましたね。

初めて食べる白いふわふわの綿菓子に、「なんだか飴ちゃんの味がする。」と、驚きの表情を見せたり、「お祭りが今日も明日も連続してあるんだよ」とweekならではのつぶやきも聞くことができ、一つひとつが子どもたちの姿から心揺さぶる経験だったように感じています。

9月になると、幼児組さんが楽しみにしている運動会があります。運動会は、友だちと力を合わせたり、何度も挑戦したり、最後まで粘り強く取り組んだり、様々な経験を育んでいきます。そして、それを保護者の方に認めてもらうことで自信となり心も身体も成長します。今年度は、園児と職員のみでの開催となるかと思いますが、運動会までの過程で、子どもたちにとってのパワーの源は、保護者の皆様です。これから子どもたちは、ご家庭の中で「今日はね…」とやったことや感じたこと、時には思うようにならないことなど話す機会が増えると思います。そんな時に保護者の方が向けてくださるまなざしや対話は、子どもたちにとって大きな力になります。こうした支えがあるからこそ子どもたちは、一つの目的に向かって挑戦し、最後まで友だちとやりきる力を培っていくのです。日々取り組む様子を映像や写真など様々な形でお伝えしたいと思っていますので、保護者の皆様も子どもたちの話と合わせながら成長を感じていただけたらと思います。

まだまだ続くコロナ禍ではありますが、新しい形の保育を、子どもたちとそして保護者の皆様と対話しながら一緒に楽しんでいけたらと思います。

子育て応援メッセージ

敏感です  
子どもの喜びに  
いいお母さんは



子どもがうれしいとお母さんもうれしい、そしてお母さんがうれしいと子どももうれしいのです。

頭のとっぺんからつま先まで、子どもは全身で表現していますから、お母さんにはわかります。

子どもが何か話しかけてきたら、ちゃんと受け止めてください。子どもに負けないくらい、どんなに愛しているかを態度で示してほしいのです。

新潮社 「子どもはみんな問題児」より  
著者 中川李枝子  
主な著作 「ぐりとぐら」「いやいやえん」など

秋分の日



今月の23日は秋分の日です。この日は昼と夜の長さが同じになり、この日を境に昼間がだんだん短くなります。仏教では、この日ははさんで一週間を“彼岸”といい、お墓参りなどをして先祖を偲ぶ習慣があります。毎日無事に過ごせたことに感謝をし、謙虚な心でありたいものです。